

第6学年3組 家庭科 学習指導案

指導者 教諭 岩本 圭祐

1 題材の構想 生活を変えるチャンス！ (東京書籍) A(4)ア

の児童の姿	自分や家族の生活に関心を持ち、これまでの家庭科での学習を生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を考慮しながら、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践しようとしている。	
	【思考力、判断力、表現力等】	「学びに向かう力、人間性等」
題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の仕事または家族との関わりについて日常生活の中から課題を設定し、工夫して計画を立てる。 課題解決に向けて実践し、結果を評価、改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
目標に向かうための手立て	<p>○ 研究の視点</p> <p>【視点1 課題設定の工夫】 設定家族の1日から課題を見付け、自分の家庭の課題と結び付けることや、前回の実践からの気づきや改善点をもとにパワーアップポイントを考えることで、新たな課題もしくは同じ課題に対しての新たな取組に活かすというねらいを明確にする。</p> <p>【視点2 指導の工夫】 パワーアップポイントをもとに、自分の家族との関わりの中での新たな課題へとつなぎたい。その時に、前回のレポートやこれまで学習してきた題材の振り返りシートから、気づきや改善点を共有し、アドバイスをし合うことで、持続可能で、よりよい生活の改善のヒントとなるようにする。</p> <p>【視点3 振り返りの工夫】 今までの学習や、授業の終末を振り返ることで、実践に向けた意欲の向上と課題解決に向けた取組をよりよいものにする。課題と改善策はロイロノートにまとめ、活用できるようにする。</p>	
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ○7割の児童が家庭科は将来役に立つと考えている一方で、「今の自分に役立っているか」という問いに対して役立っていると答えた児童は半数に留まった。 ○自分の生活を変えたいと考えている児童は全体の約半数だった。今の生活に課題を感じている児童は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○約8割の児童が家庭科は好きと答えている。好きな理由として「調理が楽しいから」「日常生活でも使えるから」などが挙げられ、家庭科の授業を楽しみにしている児童が多い。しかし、苦手意識や生活とのつながりを見いだせず、好きではないと回答している児童もいる。 ○家庭科で学習したことを家庭で実践している児童は約7割である。家庭科が好きでも、実践に結びついていない児童が数名いる。

題材の評価基準	
思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①家庭の仕事または家族との関わりについて日常生活の中から問題を見だし、課題を設定している。	①家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
②家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けて、よりよい方法を考え、計画を工夫している。	②家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
③家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	③家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族との関わりに関する課題を見つけ、次の実践に取り組もうとしている。
④家庭の仕事または家族との関わりに関する課題解決に向けて実践した結果を評価・改善している。	

指導と評価の計画（3時間取り扱い ●本時 1/3）

課題	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
きる家族のために 家族のためによりよく 実践しよう	1	1	●自分の生活を見つめ、問題を見だし、学習課題を設定する。	【思】①学習シート 【主】①振り返りシート
		課外	○家族とともに仮課題について話し合い、決定する。	【主】①学習シート
	2	1	○実践するための計画を立てる。	【思】②実践レポート
		課外	○家庭で実践する。 ○実践報告書を作る。	【思】③実践レポート 【主】②振り返りシート
	3	1	○実践報告会を開き、これからの生活に活かせることを考える。	【思】④学習シート 【主】③振り返りシート

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

今まで学習してきたことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入	12	1 本時の学習課題を見つける。 (1) これまで行った実践を振り返る。 (2) 設定家族の一日の中から課題を見つける練習をする。	○今までどんなことを学習してきましたか。 ・ゆでる、炒める等の調理ができるようになった。 ・手縫いやミシンでいろいろな物を作った。 ○これまでの実践からの気付きや現在の様子からよりよくできそうなパワーアップポイントを考えよう。 ・誰のために何をしようかな。	○これまでの実践のシートを振り返らせる。 ○設定家族は、自分や家族の課題が見えやすい内容にする。	電子黒板 これまでの学習シート、製作物の写真 タブレット(ロイロノート) 設定家族電子黒板
		よりよい生活をするために、自分や家族に向けたパワーアップ大作戦を考えよう。			
展開	10	2 生活の営みに係る見方・考え方を考慮しながら、自分の家の課題を考え、友達とも話し合い、さらに改善する。	○自分の家庭について課題を考えてみましょう。 ・自分もこの設定家族と同じようなことがあった。 ・朝食がごはんだけの日がある。 ・家族のために片付けをしたい。	○課題となる観点は生活の営みに係る見方・考え方を参考にさせる。 ○対象を明確にし、相手意識と目的意識を持てるようにする。	タブレット(ロイロノート) 学習シート
	15	3 友達の考えを聞き、課題を仮決定する。	○友達と相談してどのような改善策があるか考えてみましょう。 ・1日の生活の計画を立てて過ごしてみるのはどうかな。 ・うちのみそ汁は具材がたくさん入っているから栄養満点だよ。 ・私も家の片付けしようかな。 ○自分や家族のためにできる課題を設定しましょう。	◎【思】①日常生活の中から自分や家族に向けた課題を設定できているか。 ○導入で扱ったパワーアップポイントを参考にするように声掛けを行う。	
終末	8	4 次時の学習を知り、本時の学びを振り返る。	○家の人と相談して決定したら、計画を立てます。 ○本時の振り返りをしましょう。	◎【主】①家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	学習シート